



# 霊峰に抱かれた最上の水都

石鎚山写真：三浦聖

そこには西日本最高峰の霊峰がどっしりとそびえています。そして森へと降りそそぐ雨が、大地に染み込み、恵みの「うちぬき」となって、里を潤します。吹き抜ける風が、住む人に幸せを、訪れる人に感動を。西条市は霊峰に抱かれた最上の水都。風趣に満ちた情景が人々を癒し、活力を与えてくれるまちなのです。

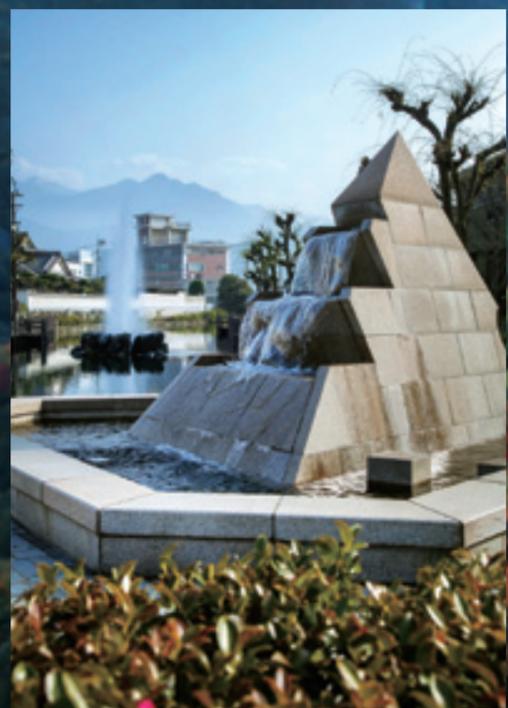


今から1330年前、修験道の開祖とされる役小角えんのわかくさが開いた石鎚山。長く女人禁制の歴史を刻み、多くの修験道者たちがこの山で修行してきました。また、信仰の拠点となる石鎚神社、前神寺、極楽寺、横峰寺などがあり、人々は山そのものに深い畏敬の念を抱いてきました。そのため森林は無闇な開発を逃れ、生い茂る木々は「自然のダム」としての機能を維持し、名水・うちぬきの恩恵を今なお与えてくれています。

西条市の生活や産業を支える「うちぬき」は、市内の広範囲にわたって見られる自噴井のことです。その数は約3,000本といわれ、1日の自噴量は約13万m<sup>3</sup>にも及んでいます。昭和60年には環境庁より「名水百選」に選定されるなど、水質の良さは折り紙付きです。西条市では、この「うちぬき」を生活用水、農業用水、工業用水として活用しています。また、「うちぬき」や市内を流れる清流が織りなす情景を目にすることができ、趣き深い水の風情を満喫することができます。西条市民は石鎚山と「うちぬき」が西条市にあることを誇りに思い、未来へと引き継ぐためにさまざまな取り組みを展開しています。

## 「うちぬき」のまち西条

地下水の自噴は、難透水層に挟まれた帯水層の地下水に圧力が加わり、その噴出エネルギーが地表より高い場合に起こります。道前平野には全国でも珍しい自噴地帯が形成されています。



Mount Ishizuchi, which stands at 1,982 meters, is the highest mountain in western Japan. The peak itself became an object of religious worship 1,330 years ago through the religious practices of Shugendō, an ascetic Buddhist sect that believes mountains hold the spirits of deities. The rain that falls on this mountain penetrates the soil and becomes part of the self-pumping ground water called uchinuki to hydrate the valley. This high quality spring water has been selected as one of the "hundred best waters of Japan" and it supports the local agricultural and industrial sectors as well as everyday activities of local residents.

## 登山やスキーを楽しむ 動植物と出会える霊峰



### 石鎚国定公園 石鎚成就スキー場

標高1,400mにあり、多くの積雪量を誇る四国屈指のスキー場。初級者用・中級者用・上級者用の3コースを整備。晴れた日には瀬戸内海を一望できます。



## 石鎚 花絵巻

ここでしか生息・生育・繁殖していない固有種の植物がたくさんあります。石鎚山を訪れる者の目を楽しませてくれる花は枚挙に暇がありません。

- 1 岩の間に咲くキバナノコマノツメ。
- 2 石鎚山系でも数カ所でしか見られないというササユリ。
- 3 西冠岳の南斜面のシモツケソウ。
- 4 アケボノツツジに彩られた春の情景。



霊峰石鎚山 石鎚神社 宮司 武智 正人さん  
愛媛県西条市出身。石鎚神社で生まれ育ち、大学卒業後、県外でのお勤めを経て石鎚神社に奉職。2015年2月、宮司に就任。

よつにも感じます。

春から秋にかけては登山に、冬はスキーにと、レジャースポットとしても見どころのある石鎚山。2015年は、役の行者が石鎚山を開山して1330年、明治維新の神仏分離令により石鎚神社として認められて150年、さらに石鎚国定公園指定60周年という節目の年。改めて石鎚山に目を向けていきたいと思います。この中で生きていくのだという気持ちになります。

## 石鎚山を見上げると 自然の循環を感じます

Voice

「石鎚山」は最高峰にあたる天狗岳、石鎚神社の山頂社が置かれている弥山、天狗岳に迫るほどの標高の南尖峰の一連の山を総称した呼び名。弥山に至る登山道には、全国でも珍しい4つの鎖場があります。急斜面に架けられた鎖を伝いながらの登山は、石鎚山の風物詩のひとつとなっています。昭和41年には、山麓下谷駅から山頂成就駅までの1,800メートル余りを結ぶ石鎚登山ロープウェイが開通し、昭和60年には、瀬戸内海を一望できる石鎚スキー場がオープン。登山やトレッキング、スキー客が足を運ぶアウトドアスポーツの人気スポットとなりました。

春は桜、夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪景色と、四季折々の手つかずの自然にふれることができるのもこの山の醍醐味です。石鎚山とその周辺の森は、暖帯林、温帯林、亜寒帯林と非常に変化に富んでおり、そのお蔭で多様な動植物を目にすることが出来ます。亜高山帯針葉樹林としては日本の最南端に位置しており、鳥獣保護区にも指定されています。自然の宝庫である石鎚山では、ここでしか生息・生育・繁殖していない固有種の植物がたくさんあります。5月上旬から下旬にかけて、可憐な花姿で目を惹かせてくれる「イシツチザクラ」もそのひとつ。また石鎚山系の稜線で生育し、7月下旬から8月下旬にかけて開花する「イシツチボウフウ」、8月下旬から10月中旬にかけて開花する「イシツチウスバアザミ」などが固有種として知られています。また、山歩きをしていると、可愛い野鳥と出会うこともあります。石鎚山系には約100種類の野鳥が生息しているといわれています。



## 自然とふれあえる 絶好のスポット

Mt. Isizuchi, a holy site that holds sacred deities, is a popular spot for outdoor sports, and has the Isizuchi Tozan Ropeway and Isizuchi Ski Resort. The mountain also is a rich natural habitat where visitors will see a wide variety of plants and animals. There are many native plants that only live and breed here, and therefore are particularly valuable.

